

令和4年度いきいき教育活動表彰

総務福利課

いきいき教育活動表彰

県教育委員会では、毎年、県内の公立学校の児童・生徒等を対象とした「いきいき教育活動表彰」を行っています。

この表彰は、スポーツや文化活動、他の模範となるような顕著な活動を行い、成果を収めた児童、生徒・団体を表彰することによりその榮譽をたたえ、本県教育の一層の振興・充実を図ることを目的に平成7年に始まったもので、今年で28回目となります。

過去には、元水泳選手で北京五輪銅メダリストの宮下純一さんや、女子プロゴルファーの勝みなみ選手など、世界で活躍するアスリートも本表彰を受賞しています。

【令和4年度いきいき教育活動表彰受賞者数】(R5.2.16時点)

(単位：件)

区分	スポーツ	文化	その他		合計
			資格取得	善行	
小学校	4	7			11
中学校	8	2		1	11
高等学校	16	6	1		23
特別支援学校	2				2
合計	30	15	1	1	47

スポーツや作文、困難な資格取得など、各分野で活躍する児童・生徒の皆さんの姿は、それぞれの学校や地域の方々はもちろん、広く県民にも大きな感動と喜びを与えています。

来年度も、本県の子どもたちが大いに活躍し、たくさんの方々が表彰されることを期待します。

令和4年度いきいき教育活動表彰式

令和5年2月9日(木)に鹿児島県青少年会館

において、令和4年度いきいき教育活動表彰式を開催し個人・団体合わせて計40件の児童、生徒を表彰しました。



受賞者代表の発表を紹介します

表彰式では、受賞者による発表が行われました。

- 南大隅高校 1年 引場 正弥さん
難関とされる「実用英語技能検定」において1級に合格しました。代表発表では、実用英語技能検定1級取得やとちぎ国体自転車競技出場等、学習と自転車競技の両立(文輪両道)をめざす過程で感じていることを英語を交えてスピーチしました。



- 鶴丸高校 2年 坂元 愛実さん
「第69回国際理解・国際協力のための高校生のも主張コンクール中央大会」において、最高賞である、外務大臣賞を受賞しました。代表発表では、国際交流を通して気づいたことや考えたことをもとに国連の世界人権宣言に対する意見を発表しました。



- 霧島市立国分中央高等学校放送部

「第46回全国高等学校総合文化祭東京大会」ビデオメッセージ部門において、最高賞である優秀賞を受賞しました。発表では、受賞作品「鹿児島アクセント講座～実践編～」を上映しました。

全ての受賞者の概要は、県教育委員会ホームページで紹介しています。

(掲載ページ)

ホーム>教育・文化・交流>学校教育>いきいき教育活動表彰>令和4年度

